



今月の

人

# 山谷・すみだ リバーサイド支援機構 「きぼうのいえ」

## 施設長 山本 雅基 氏



山本雅基(やまもと・まさき)氏…1963年  
東京生まれ。1995年上智大学神学部卒業。N  
PO法人ファミリーハウス事務局長を経て、20  
01年1月、山谷・すみだリバーサイド支援機構  
を立ち上げる。2002年10月、「きぼうのいえ」  
を開設、代表理事、施設長として運営に携わる。

3月20日に発売された『東京のドヤ街山谷でホスピス始めました。』「きぼうのいえ」の無謀な試み(実業)日本社の本の表紙にはたゞさんの人の笑顔が輝いている。帯を見ると「余命わずかな身寄りのない人々、元日雇いの労働者と暮らす候と笑いの日々で書かれており、表紙とは裏腹に内容は重い気がした。しかし、著者でありきぼうのいえ施設長の山本雅基氏にお話を伺い、人々が家族的な雰囲気の中で生活していることや、皆が幸せに向かっているための方法が明るく語られ、前向きにとらえることができた。きぼうのいえは入居者一人ひとりを尊重しながらも、決して一人ではないという常にどこかで人の気配を感じることができる温かみのある家である。

### ●きぼうのいえ

山谷リバーサイド支援機構(きぼうのいえ)は、東京の下町(荒川区)通称「山谷(さんや)」に開設された在宅ホスピスである。ホームレスや元路上生活者など身寄りがなく病氣や貧困、人生の苦難のうちにある人々に、あたたかい食事と終のすみかを提供する。そして社会資源の活用による看護と介護を支えられながら、看取りまでの最期の時を家族のようにともに過ごしてもらえるように配慮したホスピスだ。

山本氏は10年「ホームレスのためにホスピスを建てたい」と考え、看護師の妻の美恵さんとともに活動を開始した。美恵さんの貯金を元手に銀行から資金を借り、各地のキリスト教会や、多数のボランティアの後援を得て、02年4月緊急一時保護施設「なかよしハウス」を開設、02年10月に在宅ホスピスケア対応型東合住宅「きぼうのいえ」(全21室21床)を開設した。

### ●明るくホスピスを語る

ホスピスと聞くと、何か静かなイメージが先行しているような気がするんです。一般的なホスピスの本の表紙は植物で、安らかな気持ちになるような、そんな雰囲気が多いように思う。僕はそうじゃない、明るいホスピスを表現したかった。ここを別名「ホスピス長屋」と呼んで、やれ「ヘルパーさん」が来たよ、「ボランティアさん」が来たよ、「ご飯だよ」と世話を焼いてくれる人がいて、どこかしらから声がかかる場所にしたかった。ここは皆が生活する場所、人と人との関わりが感じられる場所です。

### ●死を受け入れるということ

ホスピスは暗い所ではないし、怖い所でもない。だからといって「安らかな時間」と、ばかりになるのも違う感じがしていた。しかし確実に死に向かっているというテーマは重くて、ケアする側にとっても死生観を確立させないと、複雑な思いにかられ支援できなくなってしまう。きぼうのいえを訪れている下条牧師は「お葬式は死への誕生日、お祝いの日なんです」と話します。僕もそう思うようになって逆説的かも知れないけれど、支援者として日々、入居者さんたちと共に生活することの意義を感じられるようになりました。

### ●それぞれの人の生い立ち

入居者一人ひとりの表情や様子、行動から、社会性や協調性の面で集団生活での人とのつき合いが難しいであろうと思えることがある。しかしそう言った面が欠けていると一言で済ませられないと理解したのは、それぞれの生い立ち、おかれた環境があまりにも想像を越えた苦しい現実であったことを知ったからです。人が誕生して育つ過程で、身寄りがなかったり、貧乏しゆえに環境が整わず学問を学ぶ機会がなかったり、生きるのに精一杯で必死に生き抜く術のみを身につけて成長し、今があるという人もいます。なのでマナーが悪い人などと言いつつ、切れない部分がたくさんあるんです。社会性、協調性を身につける経験を持つ機会に恵まれなかった人もいます。ということであらためて認識したことで彼らとの接し方も変わったし、自分の意識や価値観も変わりました。誰も善い行いをしたいと本当は思っているはずなんです。

苦勞の多い人生を送ってきた人であっても、きぼうのいえで人の優しさにふれ「生きていくのもいいものだ、もう少し生きたいな」と思う機会を少しでも持つてもらえたらいいなと思っています。

### ●シンプルに

入居者に、何かを教えるよというふうなことは思っていません。僕たちスタッフは、彼らにゆとりと一緒に寄り添って生活をするというシンプルなこと、何より人を穏やかな気持ちにし、優しい心を育むこと

つながる一番のことだと感じています。関わり方はいたってシンプルなんです。困っている人がいるなら助けたい。力になりたい。それが僕したいこと。これからも山谷から新しい風を送り出し、発信していきたいです。

### 『きぼうのいえHD』

http://www.kibounoi.com/info/



『東京のドヤ街山谷でホスピス始めました。』「きぼうのいえ」の無謀な試み  
山本雅基著/実業之日本社  
1600円+税